

売買仲介新サービスが好調

ボラスG
中央住宅

売却受託へ向け魅力向上

ボラスグループの中央住宅が17年12月から開始した、不動産売却支援サービス「ボラスの売却あんしんPLUS+（プラス）」が好調な滑り出しを見せている。これは、同

社が業界に先駆けて売主に対して展開している保証サービス「売却あんしんサポート」を拡充したものだ。

従来「サポート」で提供していた「建物保証」「設備保証」に加え、土地については土地家屋調査士による「簡易測量」と草刈りや看板設置などの「ステージング」を追加。マンションの場合は近年注目度の高い「ホームステージング」のほか、「ハウスクリーニング」「ハウスリペアリング」「水まわりコーティング」を用意した。

受けられるサービスの範囲は査定金額によって異なり、下限として土地が1500万円以上、マンションが2000万円以上の物件に限られるものの、物件の売却を促進すると共に売主と買主双方のリスクを軽減できる。

導入しているのは、同社の拠点のうち東京都内にある3拠点。18年3月末までの試験導入の予定で、1月11日現在までの3拠点合計実績では土地・マンションの計7件がサ

ービスを利用している。4カ月間の努力目標として30件を掲げており、同社不動産ソリューション事業部の加藤達宏部長は、「ペースとしては順調であり、おおむね想定通り」と見る。更に「査定依頼そのものは前年比で微減だったものの、その先の訪問依頼については同8%増と伸びを見せたのは、同サービスの成果だと思う」と手応えを語る。